

事務事業評価シート(平成23年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
31411	上下水道料金収納・調定事務	建設水道課	上水道係	一ノ瀬 保弘	小澤 賢美
		一次評価年月日	平成 24 年 6 月 15 日	連絡先(内線)	2162
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分	予算コード	事業名(歳出予算見積書)	
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	9104	総係費		
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	5700	公共下水道総務事務		
	第五次総合計画前期基本計画の施策体系における位置づけ	章 (コード選択)	3章	安心・安全で快適な地域を形成するまちづくり	
		節 (コード選択)	1節	地域基盤整備	
		項[基本施策] (コード選択)	4項	上水道事業の推進	
		目[主な施策] (コード選択)	1目	安全で安定した上水道の供給	
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他				
事務期間	(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明	<input type="checkbox"/> 終期設定なし		

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

上水道・小野簡易水道・公共下水道・特定環境保全公共下水道の使用者

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

上水道事業・下水道事業の経営の基本となる料金の収入額を確定し、料金収納業務を公正かつ公平に行う事により、健全な経営を図る。

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 検針結果に基づき、個別水栓使用者毎の水道使用料の確定及び全体の集計を行う。
- 口座振替等による入金確認、窓口収納時において納付者や受領金額に誤りがないか確認して、会計室に届ける。
- 毎月上旬に発行される納付書から、納付済み等の納付書を除外し、中旬に納付書を発送する。
- 分納誓約書を提出し納付を約束しながら守れない使用者に対しては、給水停止予告を行い、なお納入しない使用者には給水停止措置を行う。

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		22年度	23年度	27年度(見込み)	達成率	27	年度(見込み)	
①	指標名	年度の収納金額	千円	754,810	720,689	730,616	0.99	730,616
	説明	検針結果を基に、使用料の確定及び収納を行う(現年度分の収納金額)	目標値設定の根拠	近年の動向から推計				
②	指標名	過年度分収納金額	千円	5,920	7,982	8,533	0.94	8,533
	説明	給水停止を含む過年度分収納金額	目標値設定の根拠	近年の動向から推計				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		22年度	23年度	27年度(見込み)	達成率	27	年度(見込み)	
①	指標名	使用料の徴収率(現年度分)	%	98.72	98.88	97.99	1.01	97.99
	説明	現年度収入済み額÷現年度確定金額	目標値設定の根拠	実績により推計				
②	指標名	使用料の徴収率(過年度分)	%	23.59	30.54	24.99	1.22	24.99
	説明	過年度収入済み額÷過年度収入未納額	目標値設定の根拠	実績により推計				

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度見込み				
		24,263	25,230	23,401				
対前年比	%		104	92.8				
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		24,263	25,230	23,401				
B)一般財源(税金)								
①事業費	(千円)	16,897	16,526	14,525				
対前年比	%		97.8	87.9				
②人件費の概算	(千円)	7,366	8,704	8,876				
対前年比	%		118.2	102				
	課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費
	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24			
町職員(正規職員)	0.02 0.00 0.00	0.21 0.21 0.12	0.12 0.21 0.25	0.43 0.61 0.70	0.78 1.03 1.07	5,895	7,144	7,114
臨時職員	人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート					1,471	1,560	1,762

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある 滞納整理 C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している 苦情等の処理の中での把握及び運営審議会における意見聴取により把握 C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

平成17年度より給水停止措置を伴う強制執行を実施、平成19年度コンビニ収納試行、平成20年10月よりコンビニ収納本格導入、平成21年6月より新システム移行に伴い全面運用開始

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

給水停止措置を伴う強制執行を継続して実施

24年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

(8) 所屬長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

上下水道事業の健全な経営に必要な事業であり、継続して実施する。

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

上記 a~e を選択